

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 消防用機器整備事業（自動体外式除細動器）
-------------------	-----------------------------------

区分	番号	名 称					
章	1	やさしさと共生するまち					
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる					
施策	3	地域医療の充実					
小分類	2	救急医療体制の整備					
主要な施策	2	救急救命体制の整備					
事務事業番号	004	事務事業コード	12322004	事業開始年度	平成 1 8 年度	事業終了年度	平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	消防用機器整備事業（自動体外式除細動器）
------	------	------------	----------------------

部 名	消防署	グループ名	警備 G
-----	-----	-------	------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	（事務事業の実施目的を具体的に記載してください） 救急医療体制の整備を行う。
手段（事業の内容・活動）	（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください） A E D（自動体外式除細動器）を購入し、支署に配置する。心肺停止した傷病者に対し、早期の除細動を行い救命率の向上を図る。 平成 1 8 年度 登別支署配置 平成 1 9 年度 登別温泉支署配置 平成 2 0 年度 鷲別支署配置 平成 2 1 年度 本署配置  A E Dに使用しているバッテリー（リチウムバッテリー）の保障期限は300回の使用か5年間となっている。 有事の際、いつでも安心して使用できる状態を確保するため5年を経過したA E Dのバッテリーを更新整備する。また、配置より8年を経過したA E Dの更新整備を行う。
成果	（事務事業の実施成果を具体的に記載してください） A E D（自動体外式除細動器）を整備し、救急車が別の所に出動中で直近から救急車が出動できないときなどに配置したA E Dを搭載車両（ポンプ隊）が現場に駆けつけ（P A 連携）傷病者の救命処置にあたり救命率の向上を図る。
根拠法令等	（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	A E D（自動体外式除細動）の配置台数	台	目標値					1
			実績値		/	/	/	/
	A E Dバッテリー（リチウムバッテリー）	個	目標値			1	1	4
			実績値		/	/	/	/

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円			81	81	774	936
合 計				0	0	81	81	774	936
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	0	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		0	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市民の救命効果向上のためAEDの配備を充実させ早期救命処置が可能となり合わせて応急手当の普及を促進し救命率の向上が図られる。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 現在、4署所にAEDを配置しており救急隊より先に消防隊がAEDを持って現場到着し救命処置を行っている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 市民の救命率を向上させるため、迅速にAEDを救急現場に搬送し早期の救命処置が可能となる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 市民の救命効果を上げるため必要不可欠な事業であり削減の余地はない。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	AEDの資器材整備は早期除細動が可能で市民の救命率向上のため救急救助体制を整える必要があり、さらにAEDの整備には社会的ニーズも高まっており必要不可欠である。
----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）